

## 過年度遡及修正ワーキング・グループの立ち上げについて

### 1. ワーキング・グループ立ち上げの理由（背景）

「過年度遡及修正」については、平成 13 年 11 月開催の第 1 回テーマ協議会において、「他の法制度との調整等が必要なテーマ案」の 1 つとして提言が行われていた。

その後、会社法の公布により、会社法の下での過年度事項の修正が容認されるという環境の変化があり、本年 3 月に開催された国際会計基準審議会 (IASB) との会計基準のコンバージェンスに向けた共同プロジェクトの第三回会合において、「過年度遡及修正」は「長期プロジェクト」の中でも特に優先的にリサーチ・プロジェクトで検討していく項目の 1 つとして取り上げられている。

こうした状況を踏まえ、ASBJ 事務局内のメンバーによるリサーチ・プロジェクトにおいて、これまで、「過年度遡及修正」に関する国際会計基準及び米国基準の現状分析や、市場関係者へのヒアリング調査（財務諸表作成者、利用者、監査人を対象に、合計 11 回実施）などの活動を続けてきた。

今後、同プロジェクトの調査結果を踏まえつつ、実務上及び理論上の論点について一層の整理・検討を行うことが必要と考えられることから、ASBJ 事務局外部のメンバーを加えたワーキング・グループの立ち上げを予定している。

### 2. WG の活動内容（検討項目）

- ① 日本における従来の考え方と国際会計基準及び米国基準との比較検討
- ② 過年度遡及修正に係る包括的な論点の洗出し
- ③ 開示項目別（会計方針の変更、表示方法の変更、廃止事業の開示等）の論点整理

### 3. スケジュール

平成 19 年 1 月	過年度遡及修正 WG の立ち上げ 検討が進んだ段階で、専門委員会に移行
3 月	IASB との第 5 回コンバージェンス会議（活動状況の説明）
6 月頃	論点整理の公表

(※) ASBJ が平成 18 年 10 月に公表した「プロジェクト計画表」では、「過年度遡及修正」については、平成 19 年 6 月までに「論点整理」を公表する計画としている。

なお、公開草案及び最終的に確定した基準の公表時期については、現在のところ未定である。

以 上